

令和2年9月第5回松阪市議会定例会


請願文書表


受理番号	請願第5号
受理年月日	令和2年8月27日
件名	防災対策の充実を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市嬉野町1430番地 松阪市PTA連合会 会長 浅沼 繁典 松阪市射和町557番地1 三重県松阪市小中学校長会 会長 前冨 敏文 松阪市小津町577番地3 三重県松阪市幼稚園長会 会長 丸口 典子 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 鈴木 史彦
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	橘 大介 殿村 峰代 栗谷 建一郎 楠谷 さゆり 深田 龍 山本 芳敬 中島 清晴 久松 倫生


防災対策の充実を求める請願書

提出 令和2年 8月 27日


松阪市議会議長 西村 友志 様

殿 不可峰 分 入 


栗谷 建一郎 


久松 倫生 

山本 芳敬 

深田 龍 

紹介議員

楠谷 圭ゆり 

中島 清晴 

橋 大介 

提出者

三重県松阪市嬉野町1430
松阪市PTA連合会

会長 浅沼 繁典



三重県松阪市射和町557-1
三重県松阪市小中学校長会

会長 前 篤 敏 文



三重県松阪市小津町577-3
三重県松阪市幼稚園長会

会長 丸 口 典 子



三重県松阪市垣鼻町1528-4
三重県教職員組合松阪支部

支部長 鈴 木 史 彦



請願の趣旨

子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をはかるよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

県内において、子どもたちが通う9割以上の公立学校が避難所指定を受けており、有事の際には地域の避難所となることが予想されますが、501校中117校の小中学校が津波浸水想定区域内に立地し、うち、107校は避難所に指定されています。2015年に津波対策のための不適格改築事業の拡充がおこなわれましたが、補助要件である「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく「津波防災推進計画」の策定は全国的にもすすんでおらず、支援制度の活用が難しい状況です。補助要件の緩和等支援制度のさらなる拡充を求めます。

また今年、全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。2016年に内閣府が策定した避難所運営の指針では、感染者は専用の部屋を確保すれば避難所に滞在できるとしていましたが、政府は、2020年4月、新型コロナウイルス感染者は、避難所以外に滞在させるよう通知をおこないました。「指定避難所以外の避難所を開設するなど、通常の災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図る」としました。その後、発熱・咳等の症状が出た方や濃厚接触とされる方とやむを得ず同室となる場合のレイアウト例等が示されていますが、施設やスペース、資材、人材が足りない自治体も少なくありません。

災害や感染症は、いつ発生するかわかりません。性やプライバシーに関する課題、外国人、介助・介護が必要な高齢者、障がい者、女性、乳幼児等への配慮等、まだまだ改善すべき課題は山積しています。政府の責任において、安心して被災者が避難できるように備えるべきです。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望むところです。

以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をすすめることを強く切望するものです。